



# 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 もしもしホットライン

コード番号 4708 URL <http://www.moshimoshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中込 純

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長

(氏名) 多田 雅彦

TEL 03-5351-7200

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	18,036	△22.0	648	△80.1	687	△79.2	434	△78.4
26年3月期第1四半期	23,136	△15.9	3,268	△34.9	3,300	△34.7	2,011	△34.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 477百万円 (△76.4%) 26年3月期第1四半期 2,020百万円 (△34.6%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第1四半期	6.30	—	—	—
26年3月期第1四半期	29.19	—	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
27年3月期第1四半期	50,672		41,640		82.0	603.10		
26年3月期	50,510		42,043		83.1	608.77		

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 41,566百万円 26年3月期 41,956百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
26年3月期	—	14.00	—	15.00	29.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	14.00	—	15.00	29.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	36,800	△13.3	1,070	△74.5	1,100	△74.1	655	△74.8	9.50
通期	75,000	△5.3	3,860	△29.2	3,920	△30.1	2,500	△27.6	36.27

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注)詳細につきましては、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	69,503,040 株	26年3月期	69,503,040 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	582,036 株	26年3月期	582,036 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	68,921,004 株	26年3月期1Q	68,921,004 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における国内経済は、消費税率引き上げに伴う反動が見られるものの、基調としては緩やかな回復を続けました。当社グループが属するBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）業界では、企業の構造改革やコスト削減に向けたアウトソーシングの動きが引き続き見られました。

こうした中、当社グループでは、製造、情報向け業務が拡大する一方、前年同期にあった官公庁向け大型業務や公益向けスポット業務の終了、及び通信、放送向け業務の縮小の影響を受け、当第1四半期の連結売上高は18,036百万円（前年同四半期比22.0%減）となりました。

また、利益面では、大型業務の終了、及び昨年度受注した新規業務の立上げに時間を要している影響もあり、同四半期営業利益は648百万円（同80.1%減）、同四半期経常利益は687百万円（同79.2%減）、同四半期純利益は434百万円（同78.4%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### テレマーケティング事業

インバウンドサービスは、製造、流通向け業務が伸長した一方、通信、放送向け業務の縮小や前年同期にあった公益向けスポット業務の終了により、同サービスの売上高は10,653百万円（同3.6%減）となりました。

アウトバウンドサービスは、通信、放送向け業務の縮小により、同サービスの売上高は1,357百万円（同18.5%減）となりました。

テレマーケティング関連サービスは、情報向け業務を中心に需要が拡大したものの、官公庁向け大型業務終了の影響が大きく、同サービスの売上高は4,148百万円（同50.6%減）となりました。

#### フィールドオペレーション事業

フィールドオペレーション事業は、前年度にあった官公庁向け業務の一部が今年度は実施されなかったことなどから同事業の売上高は1,706百万円（同9.8%減）となりました。

#### その他

主に連結子会社である株式会社ヴィクシアのデジタルマーケティング関連売上高で構成されておりますが、その連結売上高は170百万円（同22.8%増）となりました。

なお、デジタルマーケティング関連サービスの売上高は、純額表示による方法を採用しておりますが、総額表示による方法を用いた場合、同サービスの売上高は、778百万円（同14.7%増）となります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、50,672百万円となり、前連結会計年度末比162百万円の増加となりました。これは現金及び預金の増加等によるものです。

負債は、9,031百万円となり、前連結会計年度末比564百万円の増加となりました。これは未払消費税等の増加によるものです。

純資産は、41,640百万円となり、自己資本比率は82.0%となったことで、前連結会計年度末から1.1ポイント減少しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準とし、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が239,054千円増加し、利益剰余金が153,855千円増加しております。また当第1四半期連結累計期間の連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,861,064	11,575,262
受取手形及び売掛金	9,218,998	8,690,719
仕掛品	1,228,094	1,364,313
貯蔵品	16,562	6,782
預け金	16,000,000	16,000,000
その他	2,544,711	2,392,059
貸倒引当金	△11,307	△11,593
流動資産合計	39,858,124	40,017,542
固定資産		
有形固定資産	2,018,289	1,912,906
無形固定資産		
のれん	91,857	79,853
その他	701,014	703,815
無形固定資産合計	792,872	783,668
投資その他の資産	7,840,826	7,958,020
固定資産合計	10,651,987	10,654,595
資産合計	50,510,112	50,672,138
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,513,662	1,418,541
未払金	4,858,384	4,433,401
未払法人税等	123,209	21,801
賞与引当金	488,953	693,859
役員賞与引当金	34,000	3,275
資産除去債務	19,132	15,227
その他	561,357	1,587,735
流動負債合計	7,598,700	8,173,842
固定負債		
役員退職慰労引当金	26,720	20,290
退職給付に係る負債	219,172	225,002
資産除去債務	622,462	612,443
固定負債合計	868,355	857,736
負債合計	8,467,055	9,031,578

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	998,256	998,256
資本剰余金	1,202,750	1,202,750
利益剰余金	40,397,812	39,952,110
自己株式	△592,315	△592,315
株主資本合計	42,006,503	41,560,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,595	42,208
為替換算調整勘定	△54	△493
退職給付に係る調整累計額	△39,018	△36,430
その他の包括利益累計額合計	△49,667	5,283
少数株主持分	86,221	74,474
純資産合計	42,043,057	41,640,559
負債純資産合計	50,510,112	50,672,138

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	23,136,195	18,036,085
売上原価	17,907,034	15,599,775
売上総利益	5,229,161	2,436,309
販売費及び一般管理費	1,960,467	1,787,440
営業利益	3,268,693	648,868
営業外収益		
受取配当金	12,655	18,473
その他	24,803	21,253
営業外収益合計	37,459	39,726
営業外費用		
持分法による投資損失	3,649	172
為替差損	1,097	670
その他	497	10
営業外費用合計	5,243	854
経常利益	3,300,908	687,741
特別利益		
固定資産売却益	1,823	—
保険解約返戻金	—	6,690
特別利益合計	1,823	6,690
税金等調整前四半期純利益	3,302,732	694,431
法人税、住民税及び事業税	1,130,742	384,022
法人税等調整額	184,460	△112,101
法人税等合計	1,315,203	271,920
少数株主損益調整前四半期純利益	1,987,529	422,510
少数株主損失(△)	△24,427	△11,747
四半期純利益	2,011,956	434,257



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,987,529	422,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,158	52,803
退職給付に係る調整額	—	2,587
持分法適用会社に対する持分相当額	1,726	△439
その他の包括利益合計	32,884	54,951
四半期包括利益	2,020,413	477,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,044,841	489,209
少数株主に係る四半期包括利益	△24,427	△11,747

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	テレマーケティング事業	フィールドオペレーション事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	21,106,415	1,890,969	22,997,385	138,810	23,136,195	—	23,136,195
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,328	10,485	11,813	2,556	14,370	△14,370	—
計	21,107,743	1,901,455	23,009,198	141,367	23,150,565	△14,370	23,136,195
セグメント利益 又は損失(△)	3,246,135	58,643	3,304,778	△36,087	3,268,691	2	3,268,693

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルマーケティング関連売上高を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	テレマーケティング事業	フィールドオペレーション事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	16,159,149	1,706,509	17,865,659	170,425	18,036,085	—	18,036,085
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,278	11,045	14,324	32,974	47,299	△47,299	—
計	16,162,428	1,717,555	17,879,984	203,400	18,083,384	△47,299	18,036,085
セグメント利益 又は損失(△)	643,354	23,053	666,407	△17,538	648,868	—	648,868

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルマーケティング関連売上高を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。